モジュール登録ツール

WRS-NCFT

概　要

■ エネルギー監視システムの必須ツール

『モジュール登録ツール』は、各計測機器にアドレスを割り振るためのソフトウェアです。登録したアドレスは監視用パソコンのデータベースで一元管理でき、通信状態のチェックからシステムの増設や変更まで、スムーズに行うことができます。

システムの基本構成、ネットワークを構築！

型　式

WRS–NCFT

基本機能

- 設置モジュールへ任意アドレスや名称の割り当て
- ネットワーク全体や製品単体への通信テスト
- 機器接続前の仮登録が可能
- モジュール登録情報のバックアップ（D/B エクスポート）

動作環境

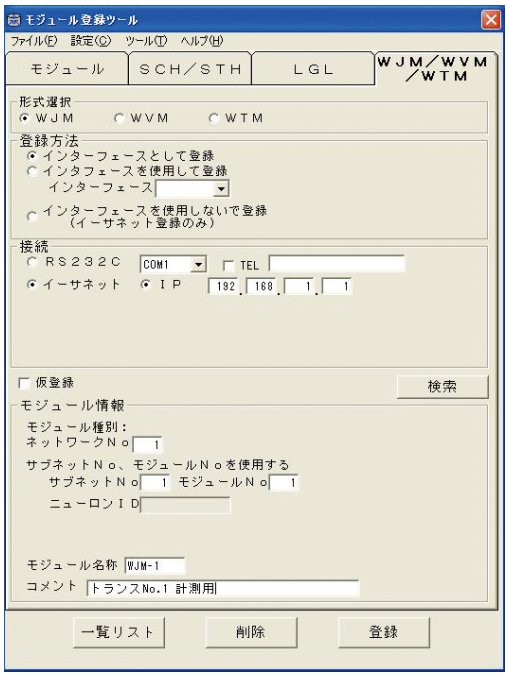
対　応　O　S	Windows 8.1 Pro（32bit/64bit） Windows 10 Pro（32bit/64bit） Windows 11 Pro Windows Server 2016 Standard（64bit） ※弊社ではWindows 10 Pro Version1511、Windows 11 Pro Version21H2 にて動作確認を行っております
C　P　U	インテル® Core™ 2 Duoプロセッサー（1.8GHz）以上
メ　モ　リ	1GB以上推奨
ハードディスク容量	インストール時、80GB以上の空き
ディスプレイ	XGA（1024×768）以上
COM ポ　ー　ト	COM1～COM5 ※COM3～COM5はRS232C拡張ボードを使用している時に有効

仕　様

モジュール管理台数	最大 1134 台
対応ネットワーク数	最大 300 ネットワーク
設定モジュール情報	
ネットワーク No	1 ～ 300 の範囲で設定
サブネット No	1 ～ 28 の範囲で設定 ※モジュールにより変動
モジュール No	1 ～ 126 の範囲で設定
モジュール名称	全角 4 文字、半角 8 文字以内で設定
コ　メ　ン　ト	全角 20 文字、半角 40 文字以内で設定

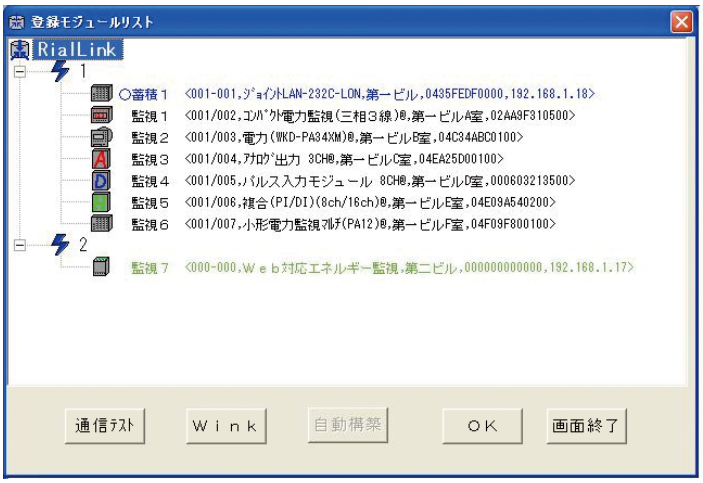
画　面

モジュール登録画面



登録モジュールごとに固有のアドレスを設定します。
設定したアドレスをモジュール本体に登録し、
データベースに反映させます。

一覧リスト



登録済みの全モジュールと登録内容を表示します。
通信テストにより、通信状態に異常があるモジュールの特定が可能です。